



今月の表紙 今市田植祭



5月27日(日)、小林地区の祭田で今市田植祭が開催されました。市内の民謡グループ「民謡瑞豊会」が主催するこの祭りは、とちぎのまつり百選の一つで、農作業の機械化に伴って歌われなくなった田植唄や人馬時代の田植えを保存・継承していくことを目的に始まり、今年で37回目を迎えます。

当日は強い日差しが照りつける中、多くの見物客やカメラマンが集まりました。農耕馬が代かきをしている間、あかねだすきにもんべ姿の早乙女たちが、小林小学校の児童たちと苗取唄に合わせて苗の株分けをしました。株分けが終わると、田植唄が歌われる中、子どもたちは横一列に並び、早乙女に苗の植え方を教わりながら、丁寧に苗を植えていきました。

昔ながらの農作業を初めて体験した小学1年生の高橋愛斗さん(塩野室)は、「田んぼに入ったときは、足が気持ち悪かったけど、植える作業がとても楽しかったです」と笑顔で話してくれました。



NHKのど自慢

5月27日(日)に今市文化会館でNHKのど自慢が開催されました。合併5周年を記念して昨年3月に開催の予定でしたが、震災により中止に。今回改めて開催となりました。

この日は、前日の予選を勝ち抜いた20組が出演して、緊張を感じさせない歌声を披露。またNHKの徳田アナウンサーが、出場者の個性を引き出し、会場は大いに盛り上がりました。

り上がりしました。5組の合格者の中から「チャンピオン」に選ばれた後藤あけみさん(宇都宮市)は、「家族以外の誰にも出場を知らせなかったほど自信がなくて、チャンピオンなんて信じられませんがとてもうれいす」と喜びの声を聞かせてくれました。なお、生放送終了後に改めて後藤さんが歌を披露、またゲストの都はるみさん、冠二郎さんの二人も、躍動感あふれるステージを披露してくれました。

延年の舞

5月17日(木)、日光山輪王寺三仏堂で、平安時代から伝わる秘舞、延年の舞が厳かに執り行われました。

毎年、日光東照宮の春の例大祭に先駆けて開催されるこの舞踊は、現在では輪王寺と岩手県平泉町の毛越寺にのみ残る貴重なもの。朝の静寂の中、緋色の直垂に白色の袴装束で演舞する2名の僧侶たちを、参列者たちは食い入るような真剣なまなざしで見つめていました。



流鏝馬神事



5月17日(木)、山内表参道大手通りで流鏝馬神事が行われました。古式ゆかしい装束に身を包んだ12人の射手が、走る馬を練りながら、三つの的に狙いを定めて矢を放ち、矢が的に当たると会場から大歓声が沸き上がりました。

内野さん(群馬県)は、「馬が速く走り迫力がすごかったです」と話してくれました。

平家大祭

6月5日(火)・6日(水)の2日間、湯西川温泉で平家大祭が開催され、6日には、祭のメインイベント「平家絵巻行列」が行われました。

地元住民や小学生が武者や女武者・弓侍に、一般募集の女性たちが姫に扮して、出演しました。行列は、湯殿山神社での出陣式で、巫女の祓神楽などの儀式が執り行われた後、勝鬨を上げて出発



百物揃千人武者行列

5月18日(金)、百物揃千人武者行列が山内表参道などで行われました。徳川家康公の神霊を日光へ改葬した行列を再現したもので、神輿を中心に鎧武者などに扮した1,200名の行列が練り歩きました。女性3人組は、「タイムスリップした感じで良いものでした。ぜひ未来に残してほしい行事ですね」と話してくれました。

大勢の観光客が見守る中、平家の里・赤間神社までの1.2kmを練り歩きました。平家の里では、凱旋式の後、大祭の宴が行われました。今年初めて行列に参加した湯西川小学校1年生の阿部幹太さん、塩谷麟太郎さん、山口峻さんの3人は、「また、参加したい」「衣装がカッコよかった」「来年は、刀を差した衣装を着てみたい」と話してくれました。



女子ホッケー日本リーグ

6月2日(土)・3日(日)の2日間、高円宮杯女子ホッケー日本リーグ第3節が、今市青少年スポーツセンターで開催されました。

地元チームのグラクソ・スミスクラインは、2日に立命館大学ホーリイズ、3日に南都銀行と対戦。地元開幕戦となる2日の試合は4対2で勝利し、訪れた多くの観客を沸かせました。試合後、この日2得点の大活躍を見せた若柳陽香選手は、「昨



シーズンは残念な試合が多かったのですが、チームが一丸となって頑張りました。地元の人たちに何としても勝ち試合を見せたいとの思いから、勝利にこだわりました。今シーズンは、チームのみんなですく、そして真剣に上位を狙っています」と語ってくれました。3日の試合は、1対2で惜敗しましたが、最後まで戦い抜いた選手たちに、観客からは惜しめない声援が送られていました。